

7 : 7 : : 7 : 7 の実践内容 (「7:7::7:7」インストラクション・マニュアルより抜粋)

7 : 7 : : 7 : 7 は、7つの放射状プラズマを活性化するための28日間のひと連なりをチェックする、28 (7×4あるいは4×7) 枚の「プラズマ・カード」と「フラクタル時間圧縮プラズマ・ボード」を使うことによって実践される。4つの週ごとの順列の組は、28種類の放射状プラズマのタイプを生じさせる。28枚の「プラズマ・カード」と「フラクタル時間圧縮プラズマ・ボード」により、28の放射状プラズマは、シンプルな日々の訓練で活性化される。

毎日：

その日のプラズマ・カードを取り上げ、その封印を瞑想する。

アフメーション (訳注：肯定的な表現文。プラズマ・カードの表 (封印のある側) に記載されたパドマサンバヴァの7つの自己宣言のこと。) を朗読する。その際、プラズマ・カードの裏側があなたの身体の適切なチャクラのポイントに触れるように置く。これにより自らに権限を与える。(対応するチャクラの名前は、プラズマ・カードの裏面に書いてある。)

そして、「フラクタル時間圧縮プラズマ・ボード」上で、カードの位置を見つける。

「フラクタル時間圧縮プラズマ・ボード」上の指令とコードを読み、それを熟慮する。

学ぶ必要のあるところがあったら、それをメモしておいて、訓練のあとにそれを学ぶようにする。これは特に第3週と第4週についてあてはまる。

そして、その日のプラズマ・カードの裏側を上にして置き、そこに書かれていること、および指定されていることを学ぶ。

翌日まで裏側を上にしたままの状態にしておき、翌日のカード配置の際に表を上にする。

毎週：

該当する週に、プラズマ・カードを配列していく。

それぞれの週の終わりには、その週の7枚のカードを横一列に並べ、6枚は表側になっていて、7枚目は裏側を上にして置く。

第2週から、当日のカードに対応するように前週までの同じプラズマのカードを垂直にも配列する。(放射子の流れをつくる。)

特定の1日が過ぎ去ったら、その前日のカードを表側にして、その上にある前日の放射子の流れを取り除き、当日のカードと、放射子の流れをその日に加える。

毎月の最後の日には、第4週の列に6枚のカードが表側になっていて、28番目のカードは裏側を上にして置く。そして、その28番目のカードの上に、3つのシリオの放射子のプラズマ・カードが表側になって垂直に配列される。

7日、14日、21日、28日に、自分の放射子 - 心のヘプタゴノンの立方体を、あなたのコドン立方体のまわりに視覚化する。それはちょうど、手に手袋をはめたような状態としてイメージ化される。

(訳注：放射子の立方体の視覚化は日々行われる。ここでは立方体が完成する日を示している。)

コドン立方体に重ね合わせるように放射子の立方体を視覚化したら、それから週のテレパシー時間原子をその立方体の中で垂直に視覚化する。(訳注：サイコロの頂点2つが天地になった状態)

時間原子、シリオの封印、そして「時間の法則の20の銘板」の週のルーンが出会う中心点から、愛、知恵、治癒の力を放出し、輝かせる。

放射子の心のヘプタゴノンの立方体は、コドン立方体とは異なった順序で構築されることに注意。

14日と28日には、立方体のまわりに正四面体を視覚化する。

28日には、4つの時間原子によって動かされる地球の中心にある正八面体水晶も瞑想する。これで時間の物理学の全秩序が完了する。それは、聖なる力、地球の魔法使いの、地球を癒し、新しい時間へと動かす力によってチャージされている。

すべては数字。神は数字だ。神はすべてに存在する。7 : 7 : : 7 : 7 では、その比の関係すべてにおける数字がすべてであり、それが高次の四次元意識に対するテレパシー的なキュー・カードである。観察力を鋭く保つように！ この実践は、16年間の法則の立方体の残り 15年にわたって実行されるべきものである。

編集： 7:7::7:7 日本語版制作チーム

Original Copyright 2000 Jose Arguelles

Japanese translation right arranged with Luckan & Co.